

地方独立行政法人青森県産業技術センター

令和2年度 業務実績評価書

令和3年9月

青森県



# 目 次

第一 評価の方法	-----	1
第二 評価の結果		
1 項目別評価		
(1) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)	-----	3
(2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (産業活動への総合的な支援)	-----	9
(3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (試験・研究開発の取組状況等の情報発信)	-----	12
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	-----	13
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	-----	15
(6) その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置	-----	16
2 全体評価		
(1) 総評	-----	18
(2) 業務運営の改善その他の措置命令事項	-----	18

## 第一 評価の方法

地方独立行政法人法第28条第1項及び第3項の規定に基づく、地方独立行政法人青森県産業技術センター（以下「センター」という。）の令和2年度における業務の実績評価については、「地方独立行政法人青森県産業技術センターの業務の実績に関する評価の基本方針」及び「地方独立行政法人青森県産業技術センター事業年度評価実施要領」に基づき行った。

評価の実施は、センターが年度計画に定めた事項ごとにその実績及び自己評価等を内容とする業務実績報告書等を基に、センターから聴取等を行うことにより、業務の実績について調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行った。

### 1 項目別評価

中期計画の次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、次の5段階の評価基準により評価するとともに、その評価理由を明らかにした。

- (1) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  
(本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)
- (2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  
(産業活動への総合的な支援)
- (3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  
(試験・研究開発の取組状況等の情報発信)
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
- (6) その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置

### 〔評価基準〕

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

## 2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、記述式により総合的な評価を行った。

## 第二 評価の結果

### 1 項目別評価

<b>(1)</b> 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置(本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)	<b>評価</b>	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
---	-----------	--------------------------

#### ア 部門別評価

##### (ア) 工業部門 (評価4)

##### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項13項目のうち、4項目が「4：年度計画を上回って実施している」、9項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

##### <順調な進捗状況にある取組>

##### a 試験・研究開発の重点化

##### [戦略推進事項]

##### (a) 健康的な生活に寄与する県産素材を活用した付加価値の高い製品に関する試験・研究開発

地域性と機能性の強化による県産酒類の開発に向け、自然由来の乳酸菌と種麴「ゴールドG」の実用化により、酒造4社から7銘柄の日本酒が商品化されるとともに、りんご果汁の冷凍濃縮方法と凍結解凍圧搾方法の開発により、りんご酒の商品開発の幅が広がったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

##### [重点推進事項]

##### (a) 人口減少の進行等の本県の地域課題に対応したものづくり産業に関する試験・研究開発

県内産業を支えるスマートセンシング技術の開発において、牛の採食量・飲水量を推定するシステムにAI技術を導入し、牛のあごや首の動きの速さ等の生体の複雑な動作解析やデータ学習による高精度のプログラムを開発したことにより、これまで不可能であった体調変化等の検知や他分野への技術展開が期待できるなど研究の進展が見込まれることから、順調な進捗状況にあると認められる。

**(b) 県民の生き生きとした健康未来を支える製品・技術及び地域工芸を支える技術に関する試験・研究開発**

デザイン視点を加えた医療機器等の開発支援において、県内医療機関と県内企業との共同研究により、靴中敷きタイプのリハビリ向け荷重コントロールデバイスを開発し、得られた技術の製品化に向けた特許出願につなげるとともに、現場のニーズ発掘から商品企画・開発、販売までのビジネスサイクルを構築できたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

**b 連携による試験・研究開発の推進**

**(a) 受託研究による試験・研究開発**

県内外の企業等からの幅広い分野に関する委託に対応し、全体で38課題が計画（29課題）を上回って実施されたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

**(イ) 農林部門（評価4）**

**<評価の理由>**

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項14項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、4項目が「4：年度計画を上回って実施している」、9項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

**<特筆すべき取組>**

**a 試験・研究開発の重点化**

**〔重点推進事項〕**

**(a) 国内外で競争力の高い優良な品種及び種畜に関する試験・研究開発**

競争力の高い良食味品種や多収品種の開発に向け、夏期高温年でも胴割米の発生が少なく、良食味で県内の広い地域で生産可能な主食用水稻品種「青系196号」をはじめ、既存品種「うしゆたか」よりも耐冷性が強く、多収である稲発酵粗飼料用品種「青系208号」を育成したほか、黒毛和種の種雄牛生産においても、種雄牛の「忠光安」の優れた産肉能力を明らかにし、本県12頭目となる基幹種雄牛の指定につなげ、今後の農畜産物の高品質生産等に大きく貢献する研究成果があったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

## ＜順調な進捗状況にある取組＞

### a 試験・研究開発の重点化

#### 〔戦略推進事項〕

#### (a) 労働力の不足等に対応するためのICT等を活用した農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発

リモートセンシングやICT技術の活用により、森林資源情報調査について、人力による地上調査を必要としない計測技術を事業者と共同で特許出願し、調査の省力化や効率化をはじめ、森林資源の適正な評価に向けたシステム構築につなげたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

#### 〔重点推進事項〕

#### (a) 産地活力を向上させる高品質で収益性の高い農林畜産物等の生産技術等に関する試験・研究開発

ながいも栽培におけるスマート農業機械の導入による省力化と軽労化の効果を作業別に明らかにし、労働力不足に対応した省力技術となるスマート農業機械の具体的な効果を技術情報として示したことで、効率的な農業機械の導入や産地の維持・強化に貢献することが期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。

#### (b) 環境負荷の軽減等に対応した安全・安心な農林畜産物の生産管理技術に関する試験・研究開発

りんご黒星病防除体系の確立に関する研究で、黒星病に治療効果を有し、系統の異なる新薬剤等を用いた防除体系を構築するとともに、試験により防除効果があることと体系の実用性を明らかにすることで、黒星病の新薬剤の有効性を示すデータとなり、新薬剤の早期実用化に結びつけたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

### b 連携による試験・研究開発の推進

#### (a) 受託研究による試験・研究開発

県内外の企業等からの幅広い分野に関する委託に対応し、全体で38課題が計画（29課題）を上回って実施されたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

## (ウ) 水産部門（評価4）

### ＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項13項目のうち、4項目が「4：年度計画を上回って実施している」、9項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。



## ＜順調な進捗状況にある取組＞

### a 試験・研究開発の重点化

#### 〔戦略推進事項〕

#### (a) 温暖化等の気候変動に対応できる農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発

コンブの成熟をコントロールする研究を進め、通常より1か月早く種苗を生産できる培養条件を明らかにし、種苗生産現場への技術普及を開始したことにより、種苗の早期かつ安定的な供給につながることで期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。

#### 〔重点推進事項〕

#### (a) 漁業経営の安定・発展に向けた水産資源の持続的利用に関する試験・研究開発

本県の重要な漁業資源であるウスメバルについて、耳石を用いた年齢構成の予測手法を開発し、年齢別の資源量予測を可能としたことにより、漁獲の制限や他魚種の漁獲選択といった資源管理措置の効果的な実践に結びつくことが期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。

#### (b) 地域の特色ある漁業の発展に向けた新しい技術に関する試験・研究開発

新しい養殖魚種であるマツカワの養殖技術の開発を促進するため、新たに養殖試験対象地区を掘り起こして2地区に拡大するとともに、これに対応するための種苗の生産を計画以上に実施し、生産コストの明確化はもとより、陸上養殖だけではなく海面養殖に向けた試験を前倒しで実施するなど研究の進展が見られることから、順調な進捗状況にあると認められる。

### b 連携による試験・研究開発の推進

#### (a) 受託研究による試験・研究開発

県内外の企業等からの幅広い分野に関する委託に対応し、全体で38課題が計画（29課題）を上回って実施されたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

## (エ) 食品加工部門（評価4）

### ＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項13項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、5項目が「4：年度計画を上回って実施している」、7項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

## ＜特筆すべき取組＞

### a 試験・研究開発の重点化

#### 〔重点推進事項〕

#### (a) 意欲ある食品関連産業の技術的課題の解決や新商品開発支援に関する試験・研究開発

企業によるさまざまな魚種を活用した加工食品の開発を支援し、7品の商品化に結びつけ、その中の商品が全国レベルの表彰において最高賞となる農林水産大臣賞を受賞したほか、総菜等27品目の製法マニュアルを作成の上、県内300の事業者の商品化を提案し、事業者から今後の開発に活用するといった好評を得るなど水産加工の競争力向上や水産物の消費拡大、企業の収益向上に大きく貢献する研究成果があったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

## ＜順調な進捗状況にある取組＞

### a 試験・研究開発の重点化

#### 〔戦略推進事項〕

#### (a) 労働力の不足等に対応するためのICT等を活用した農林水産物の生産技術等に関する試験・研究開発

魚種選別のセンシング技術について、精度向上のための追加データを取得しながら改良し、人による選別と同等の判別精度を得たほか、事業者等が行う実証試験のサポートと、その結果をもとにしたマニュアル作成により技術の普及が期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。

#### (b) 健康的な生活に寄与する県産素材を活用した付加価値の高い製品に関する試験・研究開発

加温処理により機能性を高めた黒ヤーコンの製法についての特許取得、黒にんにくと米ぬかを混合することで米ぬか由来のGABAが増加することの特許出願をはじめ、黒ヤーコンと藍を乾燥混合したお茶や、キクイモの機能性成分を活用した商品の開発を支援するなど、県産農産物の高付加価値化につながる研究に進展があったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

### b 連携による試験・研究開発の推進

#### (a) 受託研究による試験・研究開発

県内外の企業等からの幅広い分野に関する委託に対応し、全体で38課題が計画（29課題）を上回って実施されたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

**c 試験・研究開発の成果の移転・普及**

**(a) 商品化・実用化の推進**

試験・研究開発の成果をもとに、事業者とともに商品化等に取り組み、成果の商品化・実用化の件数が46件（目標達成率153パーセント）と目標値を上回ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

**イ 総合評価（評価4）**

**<評価の理由>**

4研究部門の評価の平均値により、「4」相当と認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

(2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置（産業活動への総合的な支援）

評価

4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項11項目のうち、2項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、1項目が「4：年度計画を上回って実施している」、8項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、産業活動への支援が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

### ア 技術相談・指導

#### (ア) 技術相談への対応

生産事業者及び関係団体等からの3,863件の技術相談について、電話や訪問により指導するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### (イ) 生産現場における指導

農林水産分野において、地域県民局と連携して水稻の栽培指導等を117回実施するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### イ 依頼試験・分析・調査及び設備・機器の利用

#### (ア) 依頼試験・分析・調査

依頼試験・分析・調査について、積極的なPRと周知を行い、実施件数が3,292件（目標達成率120パーセント）と目標値を上回ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

#### (イ) 設備・機器の利用

設備・機器の利用について、積極的なPRと周知を行い、利用件数が4,053件（目標達成率270パーセント）と目標値を上回ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

## ウ 関係団体、産業界等との連携・協力

### (ア) 研究成果発表会、研修会等の開催

試験・研究開発により蓄積した技術等の成果を広く活用してもらうため、工業総合研究所の「IoT棟無料開放デー」や酒造好適米「吟鳥帽子展」などの展示会や発表会等を29回開催するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### (イ) 関係団体等との情報交換

技術とノウハウの活用や情報交換のため、関係団体主催の「労働力不足に対応した先端農業技術検討会」や「ジュノハート現地検討会」などに945回参加するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### (ウ) 地域産業の担い手の育成や子供たちの産業に対する理解の増進

担い手の育成や子供たちの理解増進のため、関係団体主催の「いちご生産拡大セミナー」などの研修会等に249回、延べ395人、小学校、中学校、高校、大学に25回、延べ27人の講師を派遣し、産業技術に対する理解を深めてもらうなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

## エ 知的財産等の創造・管理・活用

### (ア) 創造と有効活用

開発した技術等の優位性及び独自性を高めるため、試験・研究開発によって得られた製法や優良な種苗等の実用化に向けて、新たに権利の使用を許諾した青色りんごジャムの製造方法などの産業財産権及び「あらげきくらげ」などの優良種苗供給の件数が5件（目標達成率250パーセント）と目標値を大幅に上回ったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

### (イ) 適正管理

権利を適切に管理するため、外部の有識者で構成する「職務発明等審査会」を2回開催し、特許権の更新等を適正に行うなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### (ウ) 優良な種苗・種畜等の生産と供給

生産者が安全・安心で高品質な農林水産物を安定的に生産するため、水稻の種苗31,127kg、鶏のひな20,999羽、優良種雄牛の凍結精液3,032本を供給するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

## オ 緊急事態への迅速な対応

県との「緊急時における業務連携に関する協定書」に基づき、緊急事態に対応できる体制が整備されたほか、松くい虫被害対策においては、被害が疑われるマツ類のDNA検査により被害木を特定し、県に報告するとともに、防除方法を指導するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置（試験・研究開発の取組状況等の情報発信）

評価

4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

#### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項2項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、1項目が「3：年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の取組状況等の情報発信が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

#### ア 多様な広報媒体を利用した情報発信

ホームページによる研究成果等の情報発信を、新たな動画29件を追加するなどして285回行ったほか、新聞やテレビ、ラジオ等多様な広報媒体を用いて試験・研究開発の取組状況等をPRするなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### イ 迅速な情報提供

水稻の生育状況やりんごの開花予測、陸奥湾の海況など利用者にとって有益となる幅広い分野の情報をホームページで迅速に提供し、アクセス数が417,362回（目標達成率209パーセント）と目標値を大幅に上回ったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

**(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置**

**評価**

**3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。**

#### ＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項7項目全てが「3 : 年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、業務運営の改善及び効率化の取組が計画どおりに実施されていると認められることから、「3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

#### ア 業務の見直し等

##### (ア) 内部評価、外部評価等に基づいた資源配分

令和3年度に実施する研究課題について、内部評価及び外部評価により予算額を査定するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

##### (イ) 業務実績評価やアンケート調査等に基づいた業務の見直し

県の業務実績評価において「業務運営の改善その他の措置命令事項」はなかったほか、センターの利用者を対象としたアンケート調査に基づき業務を見直すなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

##### (ウ) 情報システム等の有効活用

会議室や機器の利用状況を情報システムで共有し、利用予約をシステムで行うほか、会議でのWeb利用を積極的に進め業務の効率化を図るなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### イ 組織運営

##### (ア) 企画経営機能の発揮

理事会を5回、所長会議を2回開催し、予算や業務運営に関する計画等を審議するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。



### (イ) 各試験研究部門による一体性の確保

理事会や所長会議等での決定事項や各種規程など共有化すべき情報について、パソコン上で職員が閲覧できる環境とし情報共有したほか、りんごの黒星病対策等について、研究所の枠を越えたプロジェクトチームを設置して検討を行うなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

## ウ 職員の確保と能力の向上

### (ア) 職員の資質向上

センターが策定した人員適正化計画に基づく専門性の高いプロパー職員の採用や、優秀な人材確保に向けた大学主催の企業説明会等への参画をはじめ、センターの人財育成方針により各種研修への職員派遣や資格取得の支援を行うなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### (イ) 適正な人事評価

人事評価制度を円滑に運用するため、外部講師による評価者研修等を行うなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

**(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置**

**評価**

**3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。**

### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項5項目全てが「3 : 年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、財務内容の改善に向けた取組が計画どおり実施されていると認められることから、「3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

### **ア 運営経費の執行の効率化**

#### **(ア) 省資源化の推進**

会議をWeb利用により開催する体制を整え、研究所間の会議をリモートで行い使用料等の削減を図るなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### **(イ) 職員のコスト意識の向上、運営経費の適正かつ効率的執行**

予算の執行状況について、情報システムの掲示版で周知し、コスト意識の向上を図ったほか、会計事務研修を通じて予算の適正執行等につなげるなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### **イ 外部からの研究資金の導入と自己収入の確保**

#### **(ア) 公募型研究資金の申請**

企業等からの受託研究費を38課題で128,877千円、国や科学技術振興機構等の公募型研究資金を20課題で33,863千円獲得し、積極的に外部資金を導入するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### **(イ) 依頼試験手数料、農林水産物販売収益等の自己収入の確保**

保有する機器の利用料金や依頼試験の内容等について、研修会等での説明やリストの配布により周知し、利用に結びつけるとともに、農林水産物や種苗等を販売し、自己収入を確保するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

### **ウ 剰余金の有効な活用**

剰余金を活用して試験・研究開発の推進に必要な機器等を更新し、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(6) その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置

評価

3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。

### <評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項5項目全てが「3 : 年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、その他業務運営に関する重要目標達成の措置が計画どおり実施されていると認められることから、「3 : 中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

#### ア 内部統制の強化及び法令遵守の徹底

「内部統制の推進に関する規程」に基づいた内部監査により業務の自己点検を行うとともに、法令遵守の徹底に向け「青森産技を支える人材の育成方針」による基本研修を実施するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### イ 情報管理・公開

「情報セキュリティ規程」に基づき、最高情報セキュリティ責任者、総括情報セキュリティ責任者、情報セキュリティ委員などを定め、ネットワーク接続端末を管理するとともに、ホームページ管理講習会を開催し、情報漏えい防止を図るなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

#### ウ 労働安全衛生管理

##### (ア) 安全衛生管理チェックリストによる各種点検及び労働安全衛生に関する研修等の実施

「職員安全衛生管理規程」に基づき、安全衛生管理チェックリストを用いて機器の自主検査を実施するほか、安全衛生パトロールを行い労働災害防止を図るなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

##### (イ) 職員の心身の健康の保持増進

全職員を対象に定期健康診断を実施し、「要指導」の判定を受けた職員に対して、産業医による事後指導を実施したほか、メンタルヘルス担当医によるメンタルヘルス研修を開催するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

## エ 施設・設備の計画的な整備

畜産研究所の総合庁舎の整備に向けて基本設計が完成し、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

## 2 全体評価

### (1) 総評

センターは、これまでの成果を継承しながら、技術の実用化や売れる商品づくり等の出口を見据えた取組を戦略的かつ重点的に推進し、本県の産業の振興及び経済の発展を下支えするため、役職員が一丸となって試験・研究開発の業務に取り組んでいる。

第三期中期目標・計画期間（令和元年度～令和5年度）における令和2年度の業務の実績評価は、「本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及」については、胴割米の発生が少なく栽培特性に優れる主食用水稲品種「青系196号」や、耐冷性が強く多収である稲発酵粗飼料用品種「青系208号」を育成したほか、種雄牛の「忠光安」の優れた産肉能力を明らかにし、基幹種雄牛の指定につなげるなど、今後の農畜産物の高品質生産等に大きく貢献する研究成果が認められたことをはじめ、「産業活動への総合的な支援」では、試験・研究開発によって得られた製法などの実用化に向けて、新たに権利の使用を許諾した産業財産権と優良種苗供給の件数が目標値を大幅に上回り、また、「試験・研究開発の取組状況等の情報発信」においては、水稲の生育状況や陸奥湾の海況など利用者にとって有益となる幅広い情報をホームページで迅速に提供し、アクセス数が目標値を大幅に上回ったことから、「中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

「業務運営の改善及び効率化」など3項目については、計画に定めた事項が着実に実施されていることから、「中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」とした。

これらを勘案し、全体評価としては、計画どおりに実施したと評価する。

第三期中期計画の達成に向けて、依然として経済に影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の感染拡大や不確実性を増す気候変動など、社会、経済及び自然環境が急速に変化する中で、技術開発に関する国の動向も的確に捉えながら、引き続き、幅広い視点からの試験・研究開発ときめ細かな技術支援に取り組み、本県における産業の振興及び経済の発展に寄与することが必要である。

### (2) 業務運営の改善その他の措置命令事項

特になし。